

# 出張報告書

下関市議会議長殿

令和4年2月8日

職氏名 市議会議員 坂本 晴美	用 務 地方議会総合研究所セミナーに参加
期 間 令和4年2月8日から 令和4年2月8日まで	出張先 オンライン受講

テーマ

「議員・職員のための子どもの居場所づくりと地域支援の実践手法」

講 義 1 (10:00~12:00)

講 師 認定NPO法人キッズドア理事長渡辺由美子

「 今 必要な子供の居場所・学習支援と家庭支援

～大規模家庭アンケート調査の結果から～ 」

講 義 2 (13:00~14:55)

講 師 子どもの未来サポートオフィス 米田佐知子

「 子ども食堂の必要性・社会的意義 」

講 義 3 (15:05~17:00)

講 師 文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係

地域連携ステーションファミコム 係長 浦田 愛

「 地域の居場所づくりと地域福祉コーディネーターの役割 」

## 【意見等】

渡辺講師の調査結果から、

・女性で離婚・別居中の家庭が多く、世帯収入を一人で支えているケースが多い。

・就労しているにもかかわらず、世帯収入が低く、貯蓄がない。

・保護者の健康状態、精神状態は危機的状況にある。

・困窮家庭は子育ての専門家や公的機関とのネットワークも乏しい。

この現状に、さらに新型コロナウイルス感染症の影響が、経済的にも子育て世代に大きく影響している。一番辛いことは、公的機関が支援施策を用意しているにもかかわらず、それを十分に活用できていないこと。活用する方法や、情報を知る余裕もないことが課題である。

行政がすべてを行うことは難しいと思うが、民間の力も借りながら、しっかりと情報が届くシステムを早急に構築する必要があると感じた。

米田講師から

・子どもの「生きる力」を育むもの

食べる・学ぶ・遊ぶそして社会のつながりが大切である。

・子ども食堂の背景

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| 3つの「子供の貧困」 | ① 経済的な貧困 | 措置・早期支援  |
|            | ② 関係性の貧困 | つながり・居場所 |
|            | ③ 経験の貧困  | 食育・体験    |

- ・大切なのは子供目線で見たい子供の居場所
  - ・子どもも大人も弱さを持ち込める、お互い様の関係
  - ・生き生き生きる大人との出会い
  - ・自分が持つ力に気づく場

今、本市もこども食堂が増えている。講義を受けるまでは、私自身、子ども食堂はこうあるべきだという思いがあったが、多様性が必要で、多様な子ども食堂が増えることで子供にとって居心地の良い居場所が増えるということも理解できた。

また、子ども食堂＝「貧困」「特別な子ども」ではないことを、しっかりと周知していく必要がある。子どもは、家庭、地域、子どもの居場所、学校などが連携してみんなで育てていくことの重要性を学んだ。

浦田講師から

- ・制度のはざまの課題への対応・・・自ら助けを求めない人が多い。

早期発見が重要。

- ・社会的孤立、家族機能の低下→単身の増加、助けてくれる親族がいない。
- ・制度やサービスがあっても使いこなせない
- ・子ども食堂は多機能な居場所つくりになっている。

住民が主体であり、常設型、対象を選ばない。

区は、家賃補助をしている。

- ・子ども食堂は地域の人と子どもの接点になる。

- ・子どもの支援は長期的であるからこそ、子どもと一緒に支えてくれる地域の人たちが子ども食堂をやる意味がある。

文京区は、比較的経済的に豊かな方も多いと説明された。しかし、子どもたちは遠くの私立の学校に行くため、近隣でのかかわりが少ない。保護者も核家族が多く、子育てでも孤立しやすい。地域には、経験豊かな高齢者の方々は沢山いる。そして、孤立しているのは、子どもだけではないということも話され、誰もが参加できる体制をとっている。住民が運営委員会を開催し、皆で協議しながら進めていることも長く続けていくためにも重要であると感じた。子ども食堂がきっかけで、ヤングケアラーの中学生の医学部進学支援につながった事例紹介もあった。

3つの講義を受けて、本市の子どもたちの現状を改めて、知る必要があると感じた。

何よりも、制度があっても知らない、使えてない方々にしっかりと知らせていくことの重要性を痛感した。そして、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世代の現状をしっかりと踏まえて、今ある制度の点検もしながら、必要な制度や施策に今回の研修を役立てていきたい。



KIDS DOOR  
認定NPO キッズドア

# 今必要な子ども居場所・学習支援と 家庭支援

～大規模家庭アンケート調査の結果から～

2022年2月8日

認定NPO法人キッズドア

理事長 渡辺由美子

2022.2.8.地方議会総合研究所セミナー  
議員・職員のための子どもの居場所づくりと地域支援の実践手法

# 子ども食堂の 必要性・社会的意義



子どもの未来サポートオフィス

米田佐知子

地方議会議員セミナー

# 地域の居場所づくりと地域福祉コーディネーターの役割



文京区社会福祉協議会

地域福祉推進係 地域連携ステーションフロム

係長 浦田 愛